



石州丸惣 洋瓦



耐寒性・耐塩害性にひととき優れた石州丸惣瓦

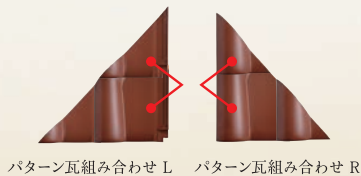
街の美しい輪郭をつくる、 一枚のフォルムとして。

近年の都市型洋風住宅に最適な優美な曲線。
モダンなデザインの瓦に、優れた防災性能を備えました。



エコ&クリーン

カット瓦は、最小の2種類4パターンで異なる2つの勾配に対応します。現場でのカット作業を無くし、施工スピードの向上、危険作業の軽減、騒音・粉塵・残材を大幅に軽減できる環境にやさしいエコロジー瓦です。



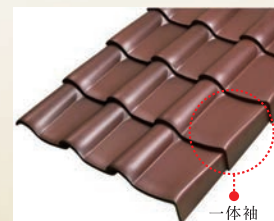
施工性

高い2段水返しとかぶり幅を大きくすることで、働き幅の10mmスライド調整を実現。切妻屋根や片流れ屋根の桁行き方向の割付に柔軟に対応できます。



防水性

小口を直角に切り落とすことで、水を跳ね飛ばし、逆巻き侵入を防ぎます。袖部は一体形状で、防水性がアップし仕上がりもすっきりします。

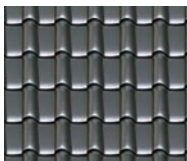




ニューセラECO

モダンやナチュラル、建物に個性を添える豊富なカラー。
カット対応で、環境にもやさしいラインナップ。

飽きのこないベーシックカラー。マット加工はよりシックなイメージに。



常備色 銀黒(ぎんぐろ)



常備色 マットブラック

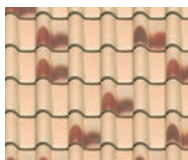


常備色 マットブラウン

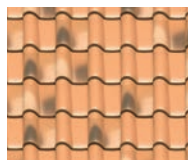


常備色 檜皮(ひわだ)

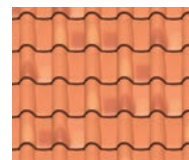
ナチュラルなベースカラーに2色のパウダースプレーを施しました。より素朴なたたずまいを演出します。



ミックス色 白樺M



ミックス色 花梨M



ミックス色 楓M

※写真は印刷色のため、瓦の色を忠実に再現できない場合があります。
※製品、色によって価格が異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

<ミックスカラーに関するご注意> 自然な風合いを生み出すために、吹き付けのない無地を意図的に混入してあります。吹き付けは製造段階で自動でランダムに行うため、吹き付け量や位置にばらつきがあり指定することはできません。

複合シート「ハイロール」+「樹脂棟受け」の導入で、パーフェクト乾式工法が実現。

従来のなんばん工法に比べ大幅な軽量化が可能で施工性汎用性に優れています。

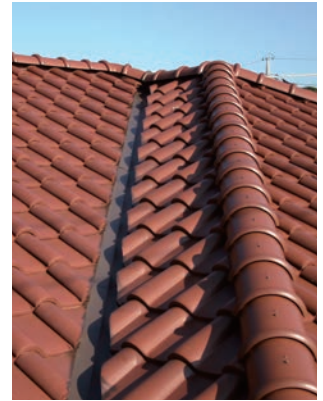
「ハイロール」

従来の湿式工法に比べ約90%の大幅な軽量化を実現する乾式棟シートです。陸棟・隅棟だけでなく、壁際にも使用できます。施工・汎用性に優れ、現場での労務負担を軽減します。



「樹脂棟受け」

従来の金属製棟金具と比較し、棟のグラつきを大幅にカット。棟のゆがみを減らすため、冠瓦の納まりも改善します。



◎物性概要

曲げ破壊荷重	平均2800N以上
吸水率	平均5%以下
凍害試験	25回の繰り返しで異常なし
耐薬品性能	異常なし

※上記製品性能値は試験結果であり、保証値ではありません。
※平成22年度島根県産業技術センター試験データに基づく年間平均値です。

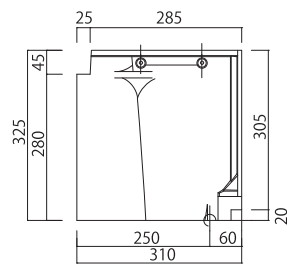
◎製品仕様

寸法	全長325mm(±4mm)全幅310mm(±4mm)	
働き寸法	長さ	280mm(±4mm)
	幅	250mm(±4mm)
葺き枚数	14.3枚/㎡・47枚/坪	
重量	3.2kg/枚(45.7kg/㎡・150.4kg/坪)	

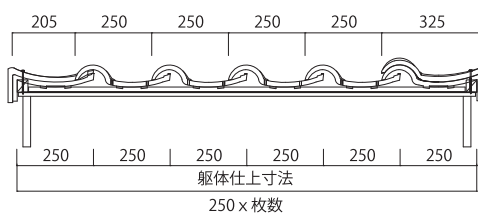
標準屋根勾配と流れ長さ	勾配	4.0	4.5	5.0	6.0
	長さ(m)	8	10	12	16

この数値は保証値ではありません。設計に際しては、地域特性や建築物の形状等に留意してください。

◎寸法

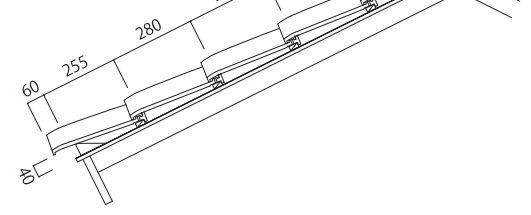


◎桁行き方向



- 躯体仕上寸法は野地の外々の寸法を250の倍数で割付けてください。
- 桁行き方向の葺き幅は250±2mmの範囲で現場にあわせ調整してください。

◎流れ方向

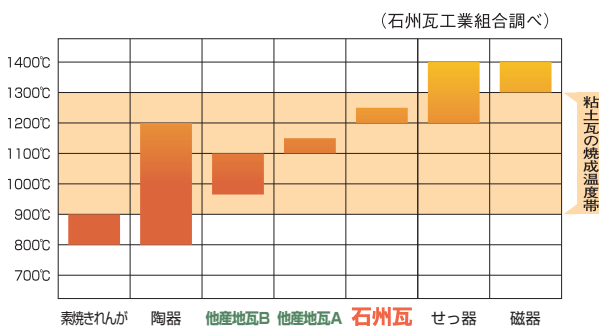


- 流れの寸法は、利足(280mm)の枚数を基準に割付けてください。
- 軒先瓦の出を60mmとし、255mmの位置を第1瓦枚の位置として、順次利足の寸法で瓦枚を設置してください。

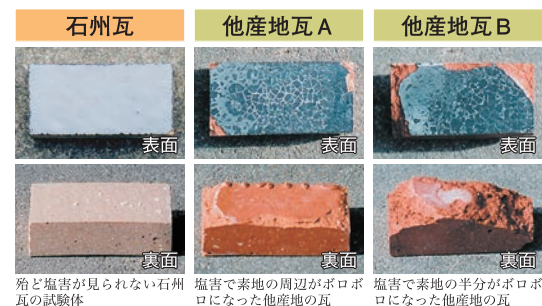
長期耐久性住宅対応のクオリティー

石州瓦最大の特性は寒さや塩害に強く、丈夫で割れにくいこと。100年住宅、200年住宅に必須の屋根材製品です。その秘密は陶器瓦の焼成温度が日本最高の1200度以上であること。それが高級ブランド「石州」の誇りです。だから屋根替えリフォームにも自信を持ってお勧めいたします。

■焼成温度の比較



■塩害試験 (試験体の写真は25㎡m×50㎡mの瓦カットサンプル)



(島根県産業技術センター試験より)

安全に関するご注意

●粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談ください。工事に不備があると、落下・雨漏り等の原因になることがあります。●寒冷積雪地域或いは強風地域では、特殊な工事が必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦を使う場合には、専門工事業者にご相談ください。●粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。

粘土瓦の特性について

粘土瓦は天然のため、下記のような現象が発生する場合がありますが、製品欠陥ではなく品質上の問題はまったくありませんので安心してご使用ください。【色ムラ】粘土成分の微妙な違いや、焼成窯内の環境の変化により微妙な色合いが発生することがありますが、品質上の問題はありません。【貫入】釉薬表面に発生する細かい亀裂を貫入といいます。これは粘土と釉薬の収縮率の違いから生じる自然現象であり、品質上の問題はありません。【ピンホール】釉薬表面に発生する小さなへこみをピンホールといいます。これは釉薬の気泡や粘土に含まれている有機物が焼成によって消滅することで生まれますが品質上の問題はありません。

本社：島根県江津市二宮町神主1820番地内5 〒695-0024 TEL.0855-53-0811

福井営業所：福井県福井市江端町5番地11 〒918-8016 TEL.0776-34-8613

ホームページアドレス <http://www.kawara.co.jp>

物に心を

丸惣株式会社

